

社会人対象講座 キャリアアッププログラム

Basic subject Career Up Program

広島経済大学キャリアアップ・プログラム・メールマガジン 第128号(2014.11.20 発行)

このメルマガは、どなたに転送いただいても構いません。

なお、本メールが不要な方は career-up@hue.ac.jp までご連絡ください。

【お知らせ】

3 学期のキャリアアップ・プログラム(CP)とカルチャー講座(CS)の受講生募集中！

【目次】

- ・巻頭言 広島経済大学 経済学部
経済学科 教授 渡辺 昌彦
- ・2 学期の授業風景
 - 木曜日『Excel で学ぶデータマイニングの基礎』
 - 金曜日『実務に役立つ経理入門』
 - 『経営戦略論の基礎』
- ・3 学期キャリアアップ・プログラム(CP)講義のご紹介
 - 『財務分析の基礎』
 - 『実践ビジネス中国語会話』
- ・3 学期キャリアアップ・プログラム(CP)/カルチャー講座(CS)のラインナップ
- ・ひろしまカレッジ受講生募集のお知らせ
- ・経大見聞録
- ・ネパール騒動記 『ネパールからナマステ』 Packer Taka
- ・読者の皆様からのエッセーの投稿をお待ちしております
- ・CP/CS に関する、ご質問やお問い合わせは

■巻頭言

広島経済大学
経済学部 経済学科
教授 渡辺 昌彦
CP コーディネーター

2 学期 CP 講師『コーポレートファイナンスの基礎』

『私たち(日本人)はもっと自信を持とう』

今年の3月に休みをいただいてオランダへ行ってきました。ゴッホ、レンブラント、フェルメールなどの名画を堪能しました。中でも電車とバスを乗り継いで訪れたクレラー・ミュージーア美術館はゴッホの名作がふんだんにあり非常に感動しました。世界遺産であるキンデルダイクの風車群、広大な敷地に満開の花々が咲き乱れるキューケンホフ公園なども素晴らしいものでした。訪問したいろいろな街はこぎれいで瀟洒な街が多くて楽しめました。中でも欧州共同体(EU)に関するマーストリヒト条約が締結されたマーストリヒトが強い印象に残りました。

オランダのほとんどの国鉄駅は近代化され大きなショッピングセンターが併設されています。当然、日本と同様エスカレーター、エレベーターなどが完備され多くの人々で賑わっています。しかしながら少しだけ違和感を覚えました。ある駅の屋外エスカレーターが大きな異音(騒音)を発しているのです。(この異音は何年か前に訪れたパリのシャンゼリゼ大通りでも発している箇所がありました。)メンテナンスが悪いのか製造上の問題があるのかは不明ですが非常に不快です。私の記憶では日本のエスカレーターで大きな異音を発して不快な思いをしたことはありません。日本のメーカーは細心の注意を払って開発・製造していることがうかがわれます。

ドイツのブレーメンへどうしても行きたかったのでドイツ国鉄(DB)ご自慢のICE(都市間特急)に乗って訪れました。私はICEが大好きで特にサービス性は高い評価をしています。日本の新幹線同様、時速250~300キロでドイツだけでなく欧州の様々な国に乗り入れていて便利で快適です。しかし今回乗ったICEで少しだけ車体のきしみ音がしました。私は日本の新幹線には、しょっちゅう乗りますが車体のきしみ音は聞いたことが有りません。伝聞ですがJRの品質基準は極めて厳しく、例えば新幹線車内のプラスチック製のごみ箱でも、きしみ音は絶対に発しないような技術レベルを要求されるようです。それにこたえられる部品メーカーが山口県に存在することもすごいことだと思います。

この10~20年「日本の製造業は衰退している」とか、極端な場合「もう駄目だ」という論調が目立ちます。果たしてそうでしょうか。もしそうなら外国人観光客が秋葉原の電気街へ殺到して大量のIH炊飯器を買って帰るでしょうか。ショッピングセンターで大量の化粧品を買い込んで帰るでしょうか。日本の自動車メーカーはなんだかんだと言いながら世界の市場で大きなシェアを占めています。最新のボーイング787は30%以上が日本製品で作られています。スマホなどのIT製品で使われている液晶などの部品は多くの日本のメーカーの製品が使われています。日本の部品がないと作れないとまで言われているのです。最近では日本のあるメーカーのランドセルが世界各国で大変なブームだそうです。

広島でもマツダが開発したスカイアクティブ技術は画期的で本当に素晴らしいものです。この技術を洗練されたデザインの車に仕立てているのですから世界中で販売が好調なのも、うなづけます。マツダだけでなく広島では様々な企業が、その製品について世界各国で高い評価を受けて業容を拡大しています。

このように世界中で日本の製品が高い評価を受けて浸透しているのは、私たち日本人が長い時間をかけて培ってきた、きめ細やかでサービス精神に富んだ顧客志向の製品を、生真面目に作りこんできた成果ではないかと思います。「ものづくり」に関する、このような基本的な姿勢を私たち(日本人)が持ち続け努力を怠らない限り世界で高い評価を得続けることができると確信しています。私たち(日本人)はもっと自信を持ってよいと思います。



【事務局よりご紹介本】

写真左の本は、2009年に発刊された「[広島のものづくり先進企業—一次世代へのメッセージ—](#)」です。写真右の本は今年(2014年)に発刊された「[広島のものづくり先進企業2—二次世代へのメッセージ—](#)」です。

本学で2006年度からスタートした講義科目「広島地域ものづくり事情」の講義録と

して刊行されました。企業のトップが本学で講義をされたものを CP コーディネーター渡辺 昌彦教授と CP 講師村山 秀次郎教授が編集された本です。2 学期 CP 受講者には、最終回の修了証をお渡しする際「広島のものづくり先進企業 2」を配付予定ですので、最終回には是非ともご出席ください。また、欠席された方には郵送する予定はございませんので、ご了承ください。

■2 学期の授業風景

前回の CP 通信に引き続き 2 学期の講義風景をご紹介します。受講された方、または受講をご検討いただいております方に講義の雰囲気を少しでも味わっていただけますと幸いです。

※web 用で写真を圧縮しておりますので画像が綺麗ではありません。受講者の方で元データの写真をご入用の方は講義受付の職員までお申し付けください。

木曜日『Excel で学ぶデータマイニングの基礎』…講師:村山 秀次郎 ビジネス情報学科 教授



金曜日『実務に役立つ経理入門』…講師:餅川 正雄 教養教育部 教授



金曜日『経営戦略論の基礎』…講師:堀江 浩司 経営学科 准教授



■3 学期キャリアアップ・プログラム(CP)講義のご紹介

今回は 3 学期の木曜日『財務分析の基礎』と『実践ビジネス中国語会話』の授業計画(シラバス)をご紹介します。

【お申込み】 <http://www.hue.ac.jp/lecture/careerup/procedure.html#>

【ご参考 受講者の声】 <http://www.hue.ac.jp/lecture/careerup/voice2013.html#3term>

科目名	財務分析の基礎 ベーシック(基礎)科目	
講義日と受講料	平成 27 年 1 月 22 日、29 日、2 月 5 日、12 日、19 日、26 日 毎週木曜日 計 6 回講義	
担当者	小谷幸生	
副題	財務会計情報を「深読み」したいあなたのために	
対象者	新聞・雑誌などで取り上げられる各種財務指標(総資産利益率[ROA]、自己資本利益率[ROE]、流動比率、負債比率等)について、全くの初心者か、または体系だった勉強はしたことがなく中途半端な理解に止まっているような方を対象とします。「懇切丁寧な解説」がモットーですが、財務諸表(貸借対照表、損益計算書)の構造や役割に関しては初歩的な知識を予めお持ちいただいていることを念頭に授業を進めます。	
到達目標	個別の財務指標の意味を理解したうえで、各指標の相互関係を踏まえ、企業の総合的な評価を行う力を身につける。	
概要	貸借対照表や損益計算書などの財務諸表は「企業情報の宝庫」。一見無味乾燥な数字の羅列と思われがちな会計情報には、企業の誕生から今日に至るまでの活動が凝縮されています。本講座では、企業活動を活写する財務会計情報の具体的な分析手法を基礎から応用へと順を追って学ぶことで、企業経営の実態を解明するための実力を養成します。	
授業内容	第 1 回 1/22	ガイダンス、企業活動と財務会計情報
	第 2 回 1/29	収益性分析(1): 資産収益性(資産利益率)、取引収益性(売上高利益率)
	第 3 回 2/5	収益性分析(2): 効率性(資産回転率)、収益性指標の相互関係
	第 4 回 2/12	収益性分析(3): 損益分岐点分析、営業レバレッジ
	第 5 回 2/19	安全性分析: 流動性(短期返済能力)、健全性(調達・運用の安定性)
	第 6 回 2/26	財務分析の総括: 収益性と安全性の統合(自己資本利益率)
授業の形式	座学	
授業の進め方	講義(レクチャー)を主体に行います。授業中の質疑応答は時間の制約で難しいと思われるので、ご質問は基本的に授業終了後に受け付けます。	
教材費などの追加負担	教材費の負担はありません。	
受講者へのメッセージ	本講座は 1 年おきに開講しており、今回で 4 度目です。『難しいことをわかりやすく』は私にとり永遠のテーマですが、受講生の皆様のご意見、感想などを参考に少しずつでも前進していきたいと思っています。講義では、財務会計情報をより身近なものとしていただくために、関連する新聞記事や実在する企業の財務データをタイムリーに取り上げながら、平明な解説を心がけたいと思います。	
講師紹介(自己紹介)	小谷 幸生 (経済学部 学部長 経営学科 教授) 1951 年福岡県生まれ。1974 年東京大学経済学部卒業後、三菱銀行(現三菱東京UFJ銀行)入行。31 年間の同行勤務のあと、2005 年 4 月より、本学経営学科教授。銀行では、調査業務(企業・業界調査)、証券管理・起債関連業務、国際業務などに携わるとともに、この間、留学(シカゴ大学 MBA)を含め 9 年間米国で勤務。幅広い角度から、内外の経済、企業経営を学ぶ機会を得る。本学では、主として会計系の応用科目(経営分析論、キャッシュフロー会計、管理会計論等)を担当。	

科目名	実戦ビジネス中国語会話 ステップアップ(応用)科目	
講義日と受講料	平成 27 年 1 月 22 日、29 日、2 月 5 日、12 日、19 日、26 日 毎週木曜日 計 6 回講義	
担当者	広田堅志	
副題	ビジネス中国語をもっと話したいあなたのために	
対象者	中国語検定 3 級以上の能力を有する方で、中国ビジネスに携わっている方、あるいはこれから中国ビジネスに進むことを志している方を対象にします。	
到達目標	中国ビジネスでよく使われている基本的表現を理解し、使えるように目指します。	
概要	ビジネス中国語は「ビジネス用語」と「ビジネス内容」を組合せたものです。分野によっては技術用語や専門用語も異なります。本講座では、中国ビジネスでよく使われている基本的な表現を「自己紹介・出迎え」「打ち合わせ・接待」「会社訪問・工場見学」「商談・交渉」「契約」「見送り・出国」等の場面ごとに別けて、必要最低限の内容を理解し、使えるようにします。	
授業内容	第 1 回 1/22	イントロダクション、自己紹介・出迎え・入国
	第 2 回 1/29	打ち合わせ・接待
	第 3 回 2/5	会社訪問・工場見学
	第 4 回 2/12	商談・交渉
	第 5 回 2/19	契約
	第 6 回 2/26	市内観光・見送り・出国
授業の形式	座学とディスカッション形式併用	
授業の進め方	「学習効率」と「実戦会話力」を最大限に重視し、限られた授業回数の中で、会話を中心に、基本的文法事項をおさえつつ、各場面でよく使うフレーズを掌握していきます。受講者の中国語レベルと講義の進捗状況に応じて進度を調整します。復習する意味で宿題を出し、次回の授業始めに答え合わせをします。質疑等は振返りシートに記入してもらい、必要に応じて、回答を全員に共有させます。	
教材費などの追加負担	教材費の負担はありません。	
受講者へのメッセージ	中国語検定 3 級以上のレベルがなければ、授業について来ることができない少し欲張りした内容になっていますが、日本人が中国語を勉強するに当たっての最大の利点—漢字が共通していること—を考えれば、きっと良い成果を得ることができます。是非休まずにチャレンジしてみてください。	
講師紹介 (自己紹介)	広田 堅志 (経済学部 経済学科 准教授) 中国生まれ。1992 年来日。専門は経済政策分野。中国の対外経済関係(貿易・外資直接投資導入・人民元レート)が研究の中心。 2003 年本学大学院博士課程後期課程単位取得満期退学。博士(経済学)。2006 年より本学専任講師、2009 年より本学准教授。公表論文は、「WTO 加盟後における中国の貿易の発展と新たな貿易政策への転換」(2008 年)、「WTO 加盟後中国の国際収支の構造的変化」(2009 年)、「中国の外資直接投資導入政策と成果—30 年の回顧と総括—」(4 回シリーズ、2010、11 年)などがある。	

■ 3 学期のキャリアアップ・プログラム(CP)/カルチャー講座(CS)ラインナップ

お早目にお申込みいただけますと、開講が早く決まりますので、よろしくお願いいたします。

Ctrl キーを押さえながら講座名をクリックすると授業計画(シラバス)がでてきます。

CP/CS	講座名	開講曜日	開講日(計 6 回)
CP	映画と映画祭で学ぶ プロジェクト・マネジメントの基礎	月曜日	1/19,1/26, 2/2,2/9,2/16,2/23
CP	マーケティング演習	月曜日	1/19,1/26, 2/2,2/9,2/16,2/23
CP	日常生活で役に立つ経済	火曜日	1/20,1/27, 2/3,2/10,2/17,2/24
CP	中小企業経営論の基礎	火曜日	1/20,1/27, 2/3,2/10,2/17,2/24
CP	所得税法入門	水曜日	1/21,1/28, 2/4,2/18,2/25, 3/4
CP	確率・統計の基礎	水曜日	1/21,1/28, 2/4,2/18,2/25, 3/4
CP	財務分析の基礎	木曜日	1/22,1/29, 2/5,2/12,2/19,2/26
CP	実戦ビジネス中国語会話	木曜日	1/22,1/29, 2/5,2/12,2/19,2/26
CP	イスラム経済とイスラム金融	金曜日	1/16,1/30, 2/6,2/13,2/20,2/27
CP	日本の財政破綻と金融政策	金曜日	1/16,1/30, 2/6,2/13,2/20,2/27
CS	コンピュータシミュレーションの世界	水曜日	1/21,1/28, 2/4,2/18,2/25, 3/4

お申込みの際は必ず授業計画(シラバス)をご覧ください、講義内容をご確認の上お申込みください。

【カルチャー講座(CS)お申込み】

<http://www.hue.ac.jp/lecture/culture/index.html>

■ひろしまカレッジ 公開講座 特別客員教授による特別講義聴講生の募集のお知らせ

企業のトップ、文化・芸術・スポーツ活動などの各界の第一線で幅広く活躍されている方々を特別客員教授として招き、各テーマに基づく講義を展開します。

後期開講の授業科目「教養特別講義Ⅱ」のうち、12/11～1/15 に開講の 5 回を教育ネットワーク中国「ひろしまカレッジ」に講座提供しております。

■講座概要

1 回	平成 26 年 12 月 11 日(木)	「日本のここが面白い」 —訪日国際客の視点から—	ひろしま通訳・ガイド協会会長、 通訳案内士古谷 章子 氏
2 回	12 月 18 日(木)	「ヒロシマ」の持つ意味と被爆地で学 ぶ若者の役割	中国新聞社客員特別編集委員 田城 明 氏
3 回	12 月 25 日(木)	次代に伝えたい 能の花	能楽師 大島 衣恵 氏
4 回	平成 27 年 1 月 8 日(木)	おめでたいニッポンに 春は来るのか?	詩人 アーサー・ビナード 氏
5 回	1 月 15 日(木)	「現代社会における伝統文化の今」	広島県指定無形文化財技術保持者 ・日本工芸会正会員 金城 一国齋 氏

【ご注意】本来は学生対象の講義ですので、学生(約 200 名)と一緒に受講となります。なお、そのため一般の方の座席は教室後方になりますのでご了承ください。聴講希望が多いため、原則 5 回の受講が可能な方を募集します。

➤ 時 間:13:00～14:30(3 時限目)

➤ 会 場:広島経済大学 6 号館 631 教室 (〒731-0192 広島市安佐南区祇園 5 丁目 37-1)

➤ 交 通:**学内駐車場のご利用はできません。**

JR 下祇園駅または JR 大町駅からスクールバスをご利用ください。

- 受講料:無料
- 定 員:30名(先着順、定員になり次第締め切ります)
- 申込期間:平成26年11月20日(木)～11月28日(金)
- 申込方法:

手順1.

講座を受けるためには受講証が必要です。教育ネットワーク中国に登録の手続きをしてください。

詳しくは <http://www.enica.jp/hiroshima/index.html> を参照してください。

または直接、教育ネットワーク中国「ひろしまカレッジ事務局」にお問い合わせください。

〒730-0803 広島市中区広瀬北町 9-3(広島修道大学インターナショナルハウス内)

教育ネットワーク中国「ひろしまカレッジ事務局」TEL(082)533-7591

※なお、すでに受講証をお持ちの方は、再度、登録の手続きの必要はありません。

手順2.

受講証の手続きが終わった方、または、すでに受講証をお持ちの方は、ファックス、または E メールにて、次の①～④をご記入の上、下記の申込先にお申込みください。

- ①氏名(ふりがな)
- ②郵便番号、住所
- ③電話番号、FAX 番号
- ④受講証の番号 または パスピー裏面の右下の17ケタ英数文字

※電話による申し込みはお受けできませんのでご了承ください。

- 申込先:広島経済大学 教育・学習支援センター

FAX:(082)871-1021 E-mail:spt-sc@hue.ac.jp

TEL:(082)871-9345

■経大見聞録

本学のHPに掲載してある記事をご紹介します。生き活きた明るい学生の表情がうかがえます。URLをクリックして、本学の学生たちの様子をご覧いただければと思います。

お仕事等の気分転換、コーヒープレイクにご覧いただけましたら幸甚です。

【11/7】広島ホームテレビ「Dr キャンパ」にて「全学ゼミ対抗スポーツ競技大会」が放映されました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/news/news/topics/0000008334.html>

【11/10】第9回 祇園・興動祭開催のお知らせ

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/news/news/topics/0000008342.html>

【11/11】第58回全日本大学空手道選手権大会に出場する空手道部の壮行会を挙行了しました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/news/news/topics/0000008352.html>

【11/17】食育推進プロジェクトが「魚市場見学ツアー」を開催しました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/news/news/topics/0000008365.html>

【11/17】「国際交流・協力の日2014」で興動館海外系プロジェクトが活動報告会を開催しました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/koudoukan/news/topics/0000008368.html>

第8話 パラグライダー

今、ワシはポカラと言う街を見下ろすサランコットと言う山の崖の上に立っている。

後ろにいるインストラクターが耳元で『First walk walk. Next run run.』と言っている。ワシは頭を縦に振り『Roger(OK)』と親指を立てて応える。

さあ、あとは風待ちだ。一緒にバスで山に上がってきた Tour mate は、すでに天高く舞い上がっている。はやる気持ちで落ち着かせ『First walk walk. Next run run.』と心を落ち着かせるように呟いてみる。もう一度深呼吸をして『First walk walk. Next run run.』と…。

ようやく山肌に沿って麓の方から吹き上げる風が来た。インストラクターの『Walk,walk』の掛け声で山の斜面を 5～6 歩 歩き、パラグライダーが風を受け頭上に大きく広がった時、次の『Run,run』と言う指示で走って崖っぷちを蹴った。その瞬間、パラグライダーはググーッと天空へ引き上げられるように舞い上がっていく。

思わず、『うわーあ！気持ちエエー！最高じゃーあ！』と叫んでいた。最高に爽快な気持ちだ。体型もそうだが、まるで傘を広げ、風に乗って森を散歩する『トロロ』だ。

不思議なことに高所恐怖症のワシがインストラクターに伴ってもらっているものの、空を飛んでいる。しかもとても爽やかな気分だった。

天空からロープでぶら下がっているようだ。風が来るたびに、ググーッと空に引き上げられるような感じで風に乗って高く上がっていく。本当に翼を大きく広げ、風を受けて空高く舞い上がる鳥になった気分だ。恐怖心と言うものが全く感じられない。

真下を見るとフェワ湖があり、湖の水は緑色に濁っている。間違っってそこへ墜落すると大変な病気になりそうだ。足をパタパタさせると足は空を切るが風の抵抗は感じる。バカみたいだが、何度も何度も足をパタパタさせて地上に着いていないことを確かめてみる。

五輪真弓の『時の流れに～鳥のように～』を口ずさむ。

♪鳥になれ～♪おおらかな～♪翼を広げて～♪雲になれ～♪旅人のように～♪自由になれ～♪

ワシは生まれて初めて地球の重力に逆らって…重力と言う束縛から自由になれたのだと、空を飛んでいる時は爽快な気分になり、顔もほころぶ。

上手く表現は出来ないが、ひとりの人間だけでは絶対飛べない空をインストラクターの手は借りているが、パラグライダーと言う道具を使って、ワシは今自由に空を飛んでいるという歓喜で一杯だった。



風が来るとインストラクターは上へ上へと上げてくれる。編隊を組んで飛んでいる鳥の“鳥の眼線”を詳しく調べているフランス人がいたが、ワシも鳥になった気分ですら、上下と顔を動かしてみる。

また、インストラクターは大きな木の枝に当たるようにスレスレに飛んだり、フェワ湖の上で空中ブランコのように何度も、何度も左右に 180° 振られ、真逆さまに落ちそうにされたときには背がビリビリと電気が走ったが、ザザーッと風に乗って飛んだ時間は 20 分くらいだろうか。

ようやく着地態勢に入り、フェワ湖の湖畔に降りた。空中での写真撮影と動画(カメラで撮った)はカメラに三脚をつけ、その三脚の足を手で持ち、飛んでいる自分や鳥の目線で景色を撮った。ワシのこのアイディアにインストラクターや Tour mate 達は感心していたが、ワシは日本を出るときからこのパラグライダーに乗った画像をどうやって撮ろうかと考えた挙げ句の勝利だった。エヘン(悦)！

着地した時の写真を観てみると、ワシの鼻の穴が大きく開き得意気だった。

■読者の皆様からのエッセーの投稿をお待ちしております

皆様からのエッセーを募集しています。日常の出来事、つぶやき何でも構いません。また匿名やペンネームで結構です。すでにご投稿をお願いいたします。(個人情報の取り扱いは十分配慮いたします)

【エッセーご寄稿頂ける方は】

どなたでも結構です。寄稿頂ける方は career-up@hue.ac.jp または 082-871-9345 までご連絡ください。掲載の日程をご連絡いたします。

■キャリアアップ・プログラム(CP)やカルチャー講座(CS)または本学に関する、ご質問やお問い合わせは下記の連絡先へご連絡ください。

731-0192 広島市安佐南区祇園五丁目 37-1

広島経済大学 教育・学習支援センター

お問い合わせは電話番号(082)871-9345 または E-mail career-up@hue.ac.jp までどうぞ。

HUE 広島経済大学
CAREER UP PROGRAM